

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービスふれ宮城野				公表日	2026年 3月 11日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	2	広くはないスペースだが、運動スペースと読書スペースを分けるなどして効率よく活用している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	システム等を利用して、間違いのないよう、常に適切であるか確認している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1		現在利用している利用者にはある程度対応できているものの、更なる向上の余地が数多くある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	コロナ過からの清掃方法・消毒等を現在も継続している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1		柔軟な対応をしているが、改善できるところは改善していきたい。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	2		各利用者に携わる職員全員が参画するための場を改善していきたい。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	2		送迎時やHUG、電話連絡などから情報を集めて現状把握してから業務改善に努めている。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1		できるだけ多くの職員の意見を、常日頃から共有することに努めている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	4		母体となる会社関係者などから評価を集め、改善点が無いかを確認している。第三者の多角化が今後の課題。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	常勤や非常勤に関係なく、同系列の施設同士でミーティングなどを行い、資質向上に努めている。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	利用するシステム（HUG等）を通じて公表するとともに、電話やメールを含めた多岐に渡る方法でプログラムを開示している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	個別面談などを通じて保護者とも話し合いさらに職員同士での意見を交換しながらニーズにあったサービス計画を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	1	常勤、非常勤に関係なく、利用者の支援に関わる職員が情報を共有して検討している。	すべての職員からの意見などを集約し、こどもの最善の利益に配慮できるよう改善していきたい。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1	常に共有するよう努めている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	2	標準化されたツールを用いて、職員全員が共通認識を持ちアプローチすることで、日々変化のある利用者への支援に役立っている。	これまで以上に職員全員の行動観察を把握、共有できるように確認をしていきたい。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0		地域支援・連携については、今後の課題として協議し改善していきたい。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	職員全員の意見を参考にしながら、毎月の活動プログラムを立案、作成している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1	ある程度の活動が固定化されているものの、活動内容自体はマンネリ化しないよう柔軟な活動ができるように工夫している。	保護者から「最近の活動は固定化され過ぎて」との意見もあったため、改善点について考察し議論している。

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	1		個人と集団での活動範囲等の違いも改めて確認し、これまで以上の支援に役立てるためにも、職員同士の意識共有を徹底したい。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	2		これまで以上にミーティングを重要視しながら支援をしていきたい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2		支援内で発生した事象については、なるべく早い段階で職員内で共有するため努めたい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0		記録に関して、もう少し具体的な情報を少しでも多く記載できるよう努めていきたい。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	保護者との面談や職員同士のミーティングを常に意識することで、いち早く計画の見直し等に素早く対応できるよう配慮している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4	2		「自立支援と日常生活」「創作活動」「地域交流の機会の提供」「余暇の提供」については、今まで以上に充実した支援に取り組む。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	1	困りごとを支援員が解決するだけでなく、当事者が取捨選択できるような支援を心がけている	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	担当者会議等には、子どもの状況を把握した担当者が必ず参加し、持ち帰った情報を職員同士で必ず共有している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	3		ここでの繋がりが少ないと感じる。今後の課題として議論する。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	システム（HUG）のほか、電話やメール等も使用して、常に最新の情報に基づき対応している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	4		特定の施設のみでの情報共有はあるものの、ほとんどの施設と情報共有ができていない。今後の課題として議論する。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	3		今までにほとんど例がなかったため、今後は情報共有をするための対応を議論する。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	3		児童発達支援センターの連携については、今以上に連携をとれるように意識したい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	0		現状としてはまだまだ少ないため、今後は交流する施設等を増やしていきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	0	常勤、非常勤を含めて会議等には積極的に参加している。今後も参加していきたい。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	システム（HUG）のほか、送迎時の受け答えや、電話やメール等を使用して、積極的に共有している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1		ペアレントトレーニング等に関してはほぼ実績がない。今後の課題。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	利用開始前から丁寧に説明している。また変更等があったときにも紙面、口頭など複数の方法を利用して説明している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	積極的に設けている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	同意をとれるように努めている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	積極的に行っている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	4		保護者同士が交流できる機会を設ける等の支援は少ない。今後の課題。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	迅速に対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	1	システム（HUG）や電話、メール等の複数方法を通じて発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	徹底している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	配慮を怠ることなく共有している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4		地域への情報開示などは積極的に行っていない。今後の課題。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	各マニュアルを策定し、状況の変化に応じてバージョンアップしている。訓練等もしている。	各マニュアルについての訓練実施を今以上に強化していきたい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	訓練等を随時行っている。	非常事態に備え、各マニュアルに沿った避難経路の確認や方法、訓練等を強化していきたい。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	1		確認はとれているが、最新の情報を常にアップデートするための確認が必要。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1		対応はしているものの、常に最新の情報をアップデートするための確認が必要。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		常に安全管理を重視して支援をしているが、今以上に徹底しながらの支援に努めたい。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	家族等への周知は共有している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	事故等が発生した際、ヒヤリハットの情報は施設内はもちろん、グループの施設内ですぐに共有し、再発防止に取り組んでいる。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	研修等を通じて対応している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	掲載している。		